

Musée Bernard Buffet



Buffet-Kun e-book vol.2

ビュッ美術館 45周年記念キャラクター「ビュッくん」大暴誕だ!!

ベルナール・ビュッをもっと好きになる月刊紙!!

月刊ビュッくん

第2号

第2話
ビュッくんと戦争

西島大介

惨禍...



モーターは作品「戦争の惨禍」(1954年)より。

ドイツ軍の戦車

パリに生まれ、パリに暮らす
ベルナール・ビュッの10代は「戦争」とともにありました。

隣国ドイツはビュッ11歳の1939年に
オランダへ侵攻。

「第二次世界大戦」勃発!

ドドド



侵攻の口実はナチス・ドイツのどっちあげ……。

後にピュジェが肖像画を描くシャルル・ド・ゴールは、一時期

イギリスに亡命。

(ロンドンで)

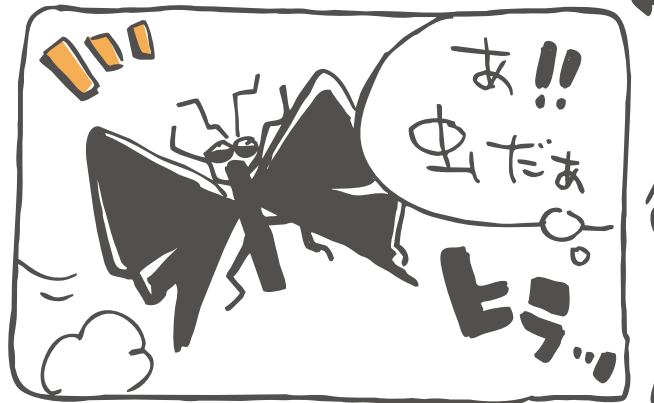
美術館の入り口には、この絵。

1940年6月14日に
ドイツ軍がパリへ無血入城。
首都陥落。

1942年にはフランス
全土がドイツ統治下。
戦火はヨーロッパ全土に
広がり、欧州の画家、
表現者たちの一部は
アメリカへと亡命。
芸術の中心地が
ヨーロッパからアメリカに
移りました。



一方、1942年当時の
ピュジェは、11歳に
(フランス式)中高等学校
通う学生でした。



食よりも、勉強よりも、「絵」に
夢中だったピュジェは
11歳で退学。



ドイツの経済支配によりフランスでは物資が不足。当然画材も!

この領下でも希望に燃えるピュジェくんなんだ!!

とにかく僕は
画家に
なりたい!!



退学したピュジェは同年、
自らが暮らすパリ17区から
4区ヴァン・ジュ広場にある
「パリ市板間学校」に通い、
そこから飛び級で1944年
名門美術学校
「エコール・デ・ボザール」に
(国立美術学校) 入学。



そして1944年8月、パリ解放。
兵役するには幼く、芸術家として身を立てるには
若かったピュジェの
前を……



こうして第二次世界大戦は
通り過ぎたのでした。
Vive La France!



フランス共和国臨時政府代表ト・ブール凱旋。

しかし
運命は
残酷なもの…。



A simple line drawing of a landscape. In the foreground, there are two jagged, cloud-like shapes. The one on the right contains the text "マーン!!". The one on the left contains the text "マーン!!". In the background, there is a large, fluffy cloud. To the right, there is a small building with a tiled roof, possibly a traditional Japanese house or a shrine.

ビュッエ
くん...

Adieu

(脳裏で)



戦争の終わりと
母の喪失。



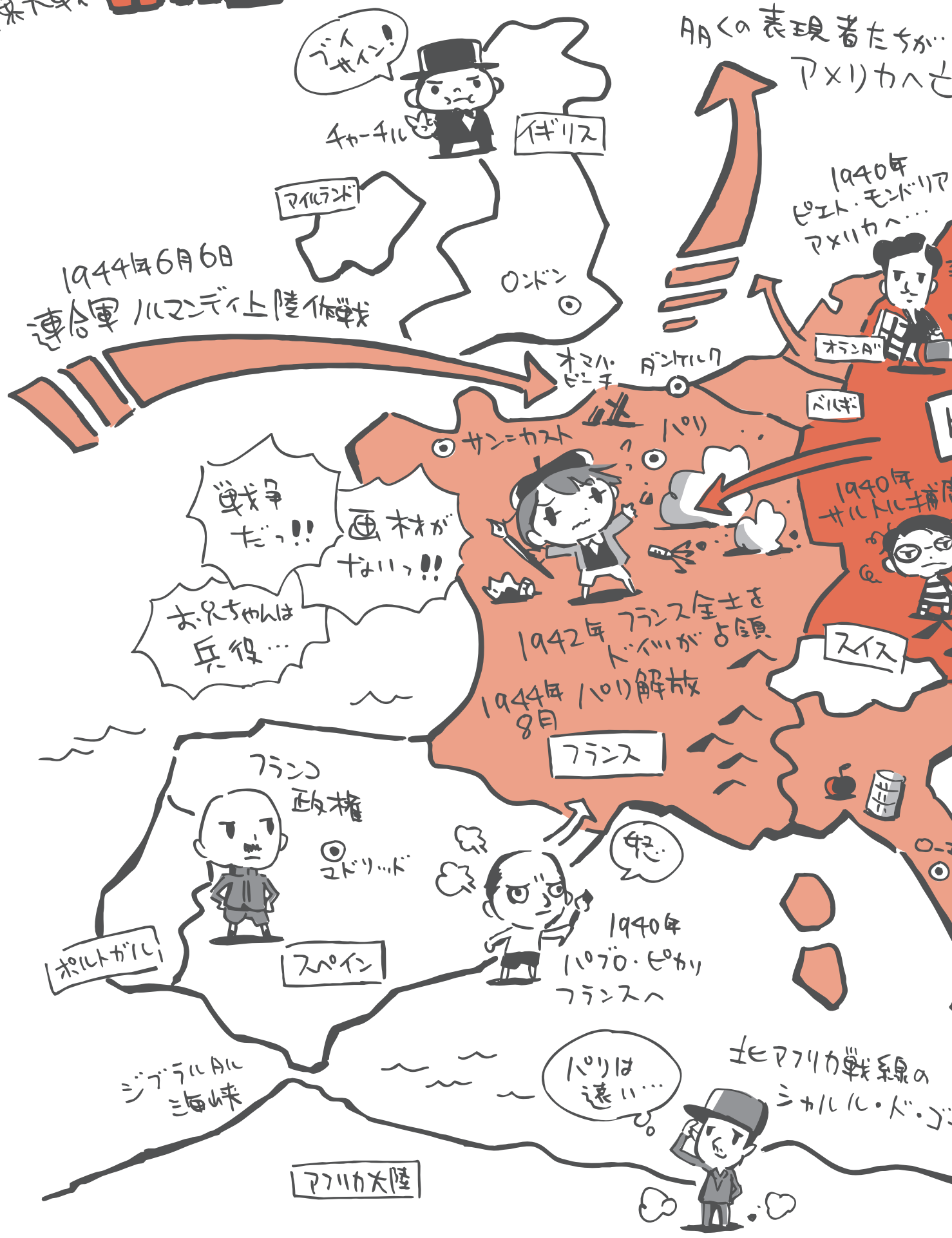
うわぁ〜ん



「一二で、完のキにビュフエの少年期は終ちつてしまったのでは……」(泣)

ビジュアル
第二次
世界大戦

WWII 戦線 MAP



Musee Bernard Buffet

